



寄稿

1 ねんりんピック 紀の国わかやま 2019 (第32回全国健康福祉祭和歌山大会) ～あふれる 情熱 はじける 笑顔～



和歌山県福祉保健部ねんりんピック担当参事
ねんりんピック紀の国わかやま2019
実行委員会事務局長

西川 隆博

1 はじめに

ねんりんピック！

「何それ、初めて聞いたわ」という声が多いのに驚く。

斯く言う私も、昨年3月末、派遣先の和歌山市からの人事異動先の業務が「ねんりんピック担当」と聞かされるまでは知らない言葉であった。

年輪（ねんりん）を重ねた60歳以上の方々のオリンピックという意味の造語であり、「全国健康福祉祭」が正式名称である。

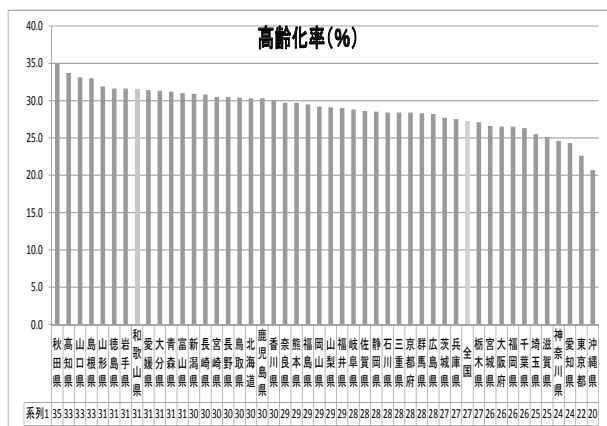
厚生労働省（厚生省）の創立50周年を記念した第1回兵庫大会以来、毎年、全国各地で開催されている。今回、第32回大会として来年11月、和歌山県で初めて開催する。

2 和歌山県の高齢化の現状

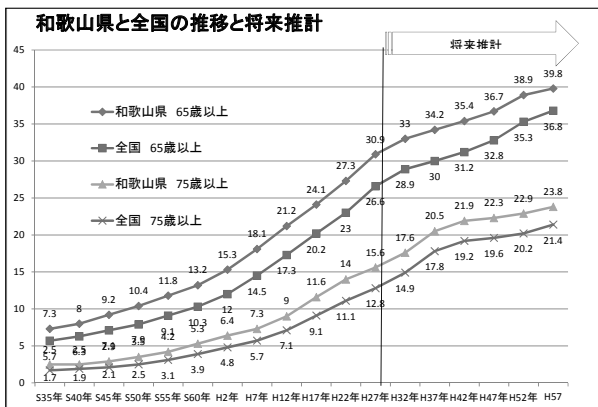
平成30年1月1日現在の和歌山県の総人口は975,074人。

そのうち、60歳以上が370,438人、65歳以上は307,043人であり、ほぼ3人に1人が高齢者となっている。

全国的に見ても本県は、65歳以上の高齢化率は全国8位（31.5%）であり、今後、避けられない数々の社会問題が生じてくるとされている。



和歌山県は65歳以上の高齢化率が全国8位
出典：総務省「国政調査および国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口」（平成30年）



高齢人口比率（和歌山県と全国の推移と将来推計）
 出典：総務省統計局「国政調査報告」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」

高齢化時代を迎えるにあたり、高齢者がいきいきと暮らす姿は、次世代の見本になるとともに、超高齢社会における「明るい希望」にもつながる。

3 ねんりんピック紀の国わかやま 2019 ～「和歌山に来て良かった！」

また来たくなる大会に～

ねんりんピックは、スポーツや文化、イベントなどを通じて、健康保持・増進、社会参加・生きがいの高揚、そして、ふれあいと活力ある長寿社会の形成を目的に毎年開催している。

昨年は秋田県、今年は富山県、そして来年、本県で開催する。

和歌山大会の開催期間は、2019年11月9日から12日にかけての4日間。

「あふれる情熱 はじける笑顔」をテーマに、健康・福祉に関する様々なイベントや、地域や人、世代を超えた「絆」を結ぶ交流大会を県内各地で開催し、観客を含め延べ約40万人の参



「ねんりんピック紀の国わかやま 2019 実行委員会」設立総会

加を見込んでいる。

県民総参加での開催を目指し、昨年6月、県下170の団体で組織する「ねんりんピック紀の国わかやま 2019 実行委員会」（会長：仁坂吉伸知事）を設立し、開催準備を進めている。

《総合開会式》

大会初日となる11月9日、和歌山市の紀三井寺公園陸上競技場にて、盛大に開会式を行う。3年前に開催した「紀の国わかやま国体・大会」では、約4,000人が一堂に整列したが、ねんりんピックはなんと、全国から1万人以上が集結。式典には例年、皇族が御臨席されている。

開会式は、「和歌山らしさ」を十分に取り入れ、和歌山が誇る豊かな自然や悠久の歴史、独自の文化などの魅力を余すことなく伝えるとともに、子供から高齢者まで全ての世代の県民が参加できる内容で企画・準備を進めている。



1万人以上が集結する総合開会式（選手宣誓）：秋田大会



総合開会式（フィナーレ）：秋田大会

《交流大会》

高齢者に、スポーツや文化活動の「楽しさ」を味わい、様々な「絆」を深めていただくため、県内 21 の市町で 27 種目が開催される。

秋田大会で様々な交流大会を見せてもらったが、激しいスポーツでも、高齢者とは思えないぐらい活発で、しなやかに動かれている。また、文化イベントの囲碁、将棋、麻雀などの参加者に聞くと「脳トレになるので」という声が多かった。

これらは生きがいを見出し、健康な生活を送るため、日頃から努力されている賜物である。

和歌山大会では特に「和歌山ならではのものをしっかりと出していきたい。

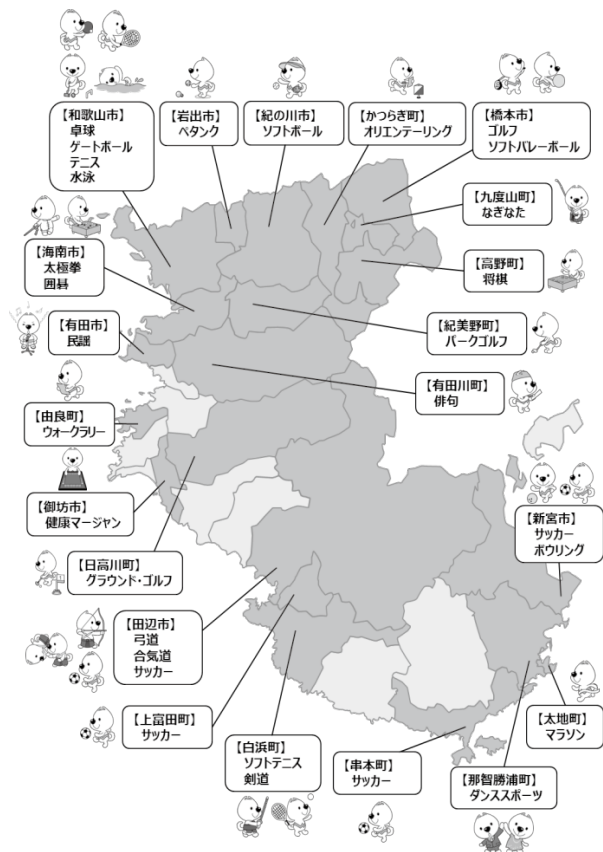
例えば、田辺市では、大会初となる「合気道」が開催される。合気道創始者の植芝盛平翁が、田辺市の出身であることを県外の方々に知ってもらいたい。

また、健康マージャン（飲まない・吸わない・賭けない）の大会が御坊市で開催される。麻雀関係の製造で、日本一のシェアを誇る会社があるのが御坊市である。

和歌山県には、素晴らしい技術を持った企業が数多くあることも PR したい。

その他、県内には、それぞれの地域で生まれたもの（発祥）や世界に誇れる歴史・文化、また偉人・先人など、自慢できるものが数多くある。今回の大会を「和歌山を自慢するチャンス」と捉え、全国に発信していきたい。

【交流大会会場・種目】



《健康・福祉・生きがいイベント》

和歌山市内の和歌山ビッグホールや県民文化会館、県立近代美術館・博物館において、高齢者の皆さんが持てる力を存分に発揮し、何歳になっても「楽しさ」が実感できるイベントとして、「健康・福祉・生きがい」に関するイベントも数多く予定している。



大会初となる「合気道」
：田辺市



健康マージャン：秋田大会



ふれあいニュースポーツ
(シャフルボード)
：秋田大会



健康フェア（相談コーナー）
：秋田大会



高齢者の豊かな経験・知識を生かした様々な地域文化の伝承活動などの実演、展示、体験、交流、発表を行う「地域文化伝承館」：秋田大会

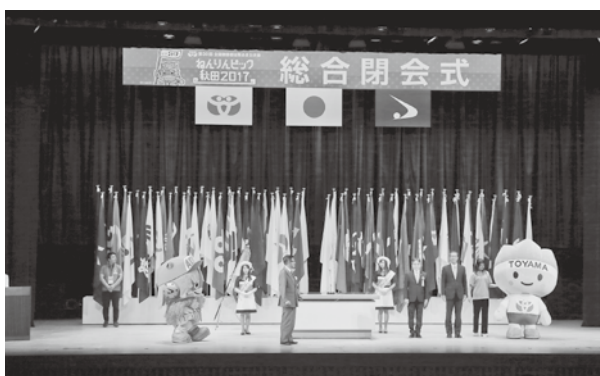
中でも美術展は毎回、全国からの選りすぐりの作品を展示しているが、和歌山にはレベルの高い美術家が多くおられることから、県内作家の優れた作品を発信する「セレクションアートわかやま 2019」も、ねんりんピックの歴史上初の試みとして開催する。



美術展は6部門（日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真）を展示：秋田大会

《総合閉会式》

最終日となる11月12日、和歌山大会のフィナーレを飾る「総合閉会式」を和歌山県民文化会館で開催し、次期開催県である岐阜県に「大会旗」を引き継ぐ。



総合閉会式（大会旗の引継ぎ）：秋田大会

《開催に向けた機運の醸成》

～県民総参加での「おもてなし」を目指して～
「ねんりんピック」を広く知ってもらおうと広報啓発にも力を注いでいる。

ホームページの開設や看板設置、グッズの作成・配布、また大会に向けて結成した「広報キャラバン隊」や応援大使、ねんりんサポーターも県内各地をめぐり、開催に向けて機運醸成を図っている。



広報キャラバン隊による広報活動（田辺祭）：田辺市

大会は4日間という短い期間ではあるが、来県される方々に、県民総参加で真心のこもった「おもてなし」を行い、「和歌山に来て良かった！また来たい！」と思っただけのような大会を目指したい。

4 経済効果が期待できる大会

～「地域活性化のチャンス」として

捉えることが大切～

ねんりんピックの特徴の一つとして、「経済効果が期待できる大会」であることが挙げられる。

国体・大会は、上位入賞を目指すため、試合前の宴会などは殆どしないし、負けたチームの殆どは直ぐに帰ってしまう。しかし、ねんりんピックは、生きがいや健康長寿の喜びを共に分かち合うことを目標とした大会であり、参加される方々も、健康で、時間的にゆとりがあり、金銭面にも余裕がある高齢者が多い。

そんな方々が1万人以上来県されるので、交流目的や地方の名産目当てで、宴会はしてくれる、観光もしてくれる、また、お土産もたくさん買ってくれる。

秋田大会では、インターネット上のお土産ランキングや有名人のオススメに入っている商品は爆買い（箱買い）されていた。これは、チームの仲間や友人、ご家族へのお土産としてや、出発前から「〇〇を買ってきて!」と頼まれているからであると聞いた。

確かに、大会の開催前から、SNSなどで、しっかりPRしていたお店には行列ができていた。

攻め（事前発信）が大切!待っているはダメだ!

また、過去の大会開催県などからも、気に入った商品は、毎年お取り寄せしてくれていると聞く。



地元の名産品が並ぶ「ふれあい広場」：秋田大会

《秋田大会の経済波及効果》

昨年の秋田大会では、県外参加者の一人当たりの消費額は125,750円で、秋田までの往復交通費を除いた74,360円が宿泊・観光・土産・飲食に使われていた。

それら直接効果に生産誘発額を加えた経済波及効果は、約106億8,000万円であったと報告されている。

《旅行商品づくりのプロと和歌山大学が連携》

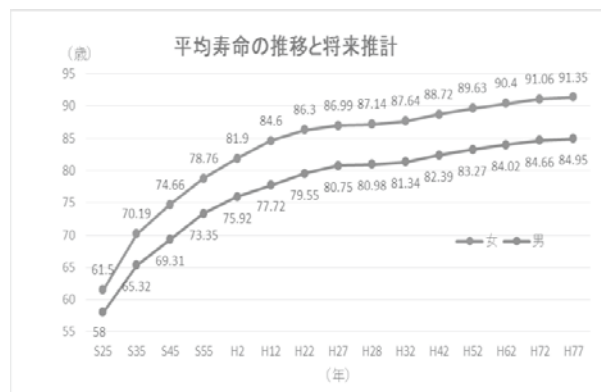
本県には、観光学部を有する和歌山大学がある。大学と大手旅行会社が連携し、学生が中心となって、ねんりんピック用の旅行商品づくりに取り組んでいる。このことも「和歌山ならではの」の取組である。



旅行商品づくりの研究
和歌山大学観光学部（地域インターシップ）

5 スポーツ・文化活動を始めるきっかけに ～「見る」から「する」へ～

高齢化が進む一方、平均寿命も延びている。生きがいを持ち、健康で自立した生活を長く続けるためにも、社会参加活動は大きな意義を持つ。よくテレビでスポーツや音楽、芸術等に関する映像が流れている（見る）が、ねんりんピックの開催を機に、多くの方々にスポーツや文化活動に興味や関心を抱いていただき、自ら少しでも「やってみよう（する）」というきっかけになっていただきたい。



平均寿命の推移と将来推計
(平成29年度版高齢社会白書：内閣府HPより)

6 おわりに

和歌山県では、3年前に開催した「紀の国わかやま国体・大会」、そして今回の「ねんりんピック」、またその2年後に開催する「国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭、全国高等学校総合文化祭、ワールドマスターズゲームズ

2021 関西」と、ホップ!ステップ!ジャンプ!のようにビッグイベントを次々と開催し、本県のスポーツや文化の更なる発展、振興を図っていく。

県民みんなが楽しく暮らせるよう、人を育み、「健康で心豊かにすごせる社会づくり」を目指して!

ボランティア、協賛イベント、広告協賛を募集中!!

詳しくは、
ねんりんピック紀の国わかやま2019
公式ウェブサイト

<https://nenrin-wakayama2019.jp>



マスコットキャラクター「きいちゃん」